

スポーツ原論Ⅰ

科目ナンバリング SPS-103
選択必修 2単位

谷崎 敦彦

1. 授業の概要(ねらい)

スポーツは今日「世界共通の文化」と再定義されている。本講義では①スポーツ指導者を目指す者②スポーツ関連業界への就職を希望する者③今後プロスポーツ業界並びに関連業界に進出する者等が最低限習得すべき「スポーツの基本」を学ぶことを目的とする。「スポーツの基本」とは「スポーツの起源」「スポーツの定義」「体育とスポーツとの違い」から「近代スポーツ発祥」を経て「近代五輪」「W-Cup開催」「2020年東京五輪」に至るまで「スポーツの発展・経緯・背景」を「スポーツ史」の側面から平易に学ぶ。又近代スポーツの持つ「勝利至上主義」「スポーツ目的論・手段論」「ジェンダー問題」「健康とスポーツ」「日本と欧米とのスポーツ観の相違」などの種々問題についても理解を深める。日本の部活動現場から何故「暴力」が無くならないのか?これは日本特有のモノなのか? 新たに設立された「スポーツ庁」が2020年東京五輪に於ける「メダル獲得数」に言及するのは当然のことなのか?など身近な例を用い学生のスポーツ理解度を高める指導を行う。

二年次、三年次にスポーツ関連専門講義を受ける意思ある学生には必修の講義内容となる。

2. 授業の到達目標

スポーツ全般に関する基礎的な知識を先ずは習得する。また、古代・中世から近代に至る世界史・経済史と連動して発展して来た近代スポーツの特性についてそれぞれの時代の特徴などとスポーツとの関連性を自分の言葉で説明出来ることを目標とする。また、明治時代に「概念」として輸入された「スポーツ」がその後日本人の身体・教育・思考にどのような影響を与えたのかを理解する。

3. 成績評価の方法および基準

出席:7割以上の出席を前提とする。平常点として30点
レポート:期中に2回の課題レポート提出 20点
期末試験:50点満点(持ち込み不可)
以上を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

岡野 進著 『概説スポーツ』

(創文企画)

参考文献は授業内に紹介します。

5. 準備学修の内容

自分の興味があるスポーツの起源を探って見る。日本の「スポーツ観」と西欧の「スポーツ観」との違いを理解すること。テキストを時代毎に熟読すること。現在日本政府は国民の祝日「体育の日」を「スポーツの日」と改める検討を始めています。この背景は何か?どちらが相応しい呼称なのか?自分の言葉で述べられること目指してください。

6. その他履修上の注意事項

私たちの周りの「スポーツ」は余りに日常化しており、「スポーツの起源」「歴史」「日本への紹介の経緯」などの基本的な理解に乏しいと思慮する。本講義では今一度「スポーツ」とは自分にとってどのような価値を持つのか?「オリンピック」「ワールドカップ」などのビッグイベントが近代に開催されるに至った背景・歴史などを学んで欲しい。また、近年「スポーツ基本法」が施行され「スポーツ庁」が新設するなど動きの激しい日本のスポーツ界の実態と背景に興味を持って欲しい。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス、授業の進め方、評価方法、留意点
【第2回】	スポーツの定義
【第3回】	スポーツと体育
【第4回】	スポーツと現代社会
【第5回】	スポーツの起源
【第6回】	古代ギリシャのスポーツ
【第7回】	ローマ時代のスポーツ
【第8回】	中世のスポーツ
【第9回】	近世のスポーツ
【第10回】	近代のスポーツ(その1)
【第11回】	近代のスポーツ(その2)
【第12回】	アメリカ生まれのスポーツ
【第13回】	スポーツ実務者よりの講演
【第14回】	女性とスポーツ
【第15回】	前期の纏めとテスト